



六桜花

やさしく かしく たくましく
～未来を創造的に生きる力の育成～

有田市立
初島小学校
(校長室だより)

R7・6・17

No.20

6月8日日曜参観

日頃の授業の様子を十分に見ていただけたのではないのでしょうか！！少しずつ少しずつ、どの学年も落ち着いてしっかりと学習に取り組むことができるようになってきました。当たり前前のことが当たり前になる初島小学校になってきています。

めざす子ども像にある「進んで考え、学びの楽しさを味わう子」の達成を目指して、これからも授業方法の工夫改善に努めていきますので、保護者の方々が少しでもお気づきのことがありましたら、担任を通じて伝えていただければと思います。

育成会祭(6月8日) 親子ドッジボール大会

子どもの集団での様子を感じ取っていただくとともに、保護者のみなさん同士の親睦を深める目的で、育成会が主となり開催してくれました。たいへん楽しいドッジボール大会でした。やはり、保護者の方々も子どもたちより上手でした。昔取ったきねづか！！さすがでした(*^o^*)



遊具を修繕していただきました。手すりにペンキを塗っていただき、板をキレイに張り替えていただきました。他にも修繕が必要な遊具がちらほらとあるので教育委員会にお願いしています。校舎内の修繕が必要などところも随時お願いしていきます。



熱中症予防対策

すでに気温30℃超えの日が続くようです。梅雨前線はどこへ行ったのか??今年の夏も猛暑の予報になっています。子どもたちは大休憩と昼休憩には外に出て遊びます。屋内にいても熱中症のリスクはあります。熱中症警戒アラートが出れば外遊びはできなくなりますが・・・日常的に十分に対策を考えておかなければいけません。

ご家庭でもお子さんに熱中症予防対策についてお話しておいてください。

●熱中症は予防できる! 一熱中症予防の原則一

1 環境条件を把握し、それに適した運動、水分補給を行うこと

暑い時期の運動はなるべく涼しい時間帯にるようにし、休憩を頻繁に入れ、こまめに水分を補給する。WBGT等により環境温度の測定を行い、下記の「熱中症予防運動指針」を参考に運動を行う。汗には塩分も含まれているので水分補給は0.1~0.2%程度の食塩水がよい。運動前後の体重を測定すると水分補給が適切であるかが分かる。体重の3%以上の水分が失われると体温調節に影響するといわれており、運動前後の体重減少が2%以内におさまるように水分補給を行うのがよい。激しい運動では休憩は30分に1回はとることが望ましい。

2 暑さに徐々に慣らしていくこと

熱中症は梅雨明けなど急に暑くなった時に多く発生する傾向がある。また、夏以外でも急に暑くなると熱中症が発生する。これは体が暑さに慣れていないため、急に暑くなったときは運動を軽くして、1週間程度で徐々に慣らしていく必要がある。週間予報等の気象情報を利用して気温の変化を考慮した1週間の活動計画等を作成することも大事である。

3 個人の条件を考慮すること

肥満傾向の人、体力の低い人、暑さに慣れていない人は運動を軽減する。特に肥満傾向の人は熱中症になりやすいので、トレーニングの軽減、水分補給、休憩など十分な予防措置をとる必要がある。また、運動前の体調のチェックや運動中の健康観察を行い、下痢、発熱、疲労など体調の悪い人は暑い中で無理に運動をしない、させない。

4 服装に気を付けること

服装は軽装とし、透湿性や通気性のよい素材にする。直射日光は帽子で防ぐようにする。

5 具合が悪くなった場合には早めに運動を中止し、必要な処置をすること